

学校法人山縣学園 北山幼稚園

理事長・園長 殿

令和4年度 学校関係者評価 結果報告書

学校法人 山縣学園

北山幼稚園

学校関係者評議会(旧カンガルークラブ※学校評価委員会)

1. 学校関係者評議会(旧カンガルークラブ※学校評価委員会)による報告書作成の意義と目的

○昨年同様、忌憚のない意見を述べられる立場として、卒園を迎えた年長(卒園児)保護者を中心としたメンバーに、本園外部理事、及び近隣住民の方にも参加いただき、北山幼稚園学校関係者評議会を設置するものとする。

○日常の北山幼稚園における教育活動、及び、各行事・参観後に幼稚園やカンガルークラブ※に寄せられた意見や近隣住民からの要望を踏まえ、令和4年度 学校法人山縣学園 北山幼稚園 自己評価の結果報告について、以下の内容について適切か否かの評価をし、今後の学校運営の改善につなげていただくものとする。

- ・自己評価結果の内容
- ・今後の改善方策
- ・今後の取り組みに対する課題
- ・学校運営の改善に向けた取り組み

※カンガルークラブ・・・北山幼稚園父母会の総称

2. 評議会開催日

令和5年3月25日(土)17:00~18:00・29(水)13:00~14:00

(令和4年度年長組(卒園児)保護者代表、外部理事、近隣住民代表を中心とし構成。)

3. 開催場所

北山幼稚園 太陽の部屋

4. 『自己評価』における「3. 評価項目の達成及び取り組み状況」に対する評価(項目ごとに意見を抜粋)

① 「幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針に従い編成する。」に対して

○まだまだ様々な制限が必要とされた園活動において、臨機対応に対処している様子が見られ、達成は出来ていたと思われ、適切と判断させていただきます。

○毎年指摘にあがる事ではあるが、外部の立場から見ると、残念な事ではあるが、理解が十分ではないのかな、という様に見える職員の方を見かけることがあり、それを周囲の職員がフォローし対処されている様子が見受けられるのが残念であり、また、その指導の際にその会話が外に聞こえてくることもある為、対応を考えていただきたい。

○仕切りの少ない園舎、自由に活動が出来る大小いくつかの園庭において、子どもたちが主体的に活動し、笑顔があふれている様子がかうかがえ微笑ましいことであるが、元気なあまりどうしても怪我をしてしまうことがあるとは思いますが、その時の対応と、その後の対応について、対応された先生によって差が無いよう皆さんで研鑽して頂ければと思います。

- 昨年、今まで貴園で、モンテッソーリ教育を中心となって推進されていた先生の計報が報告されましたが、今後もその意思を引き継いで変わりなく実践していただきたいと思います。後進の育成と、今迄以上のより良いものへと展開していただきたい。
- ② 「子供の実態を的確につかみ、理解し、保育のあり方の検討と、具体的な手立てを講じる。」に対して
- 教員の方々には、常に学年の枠を超え、子ども達の活動に配慮を頂いていると感じられる。
- 職員の不慮の欠勤や退職があっても、変わらない子どもたちへの対応と保育活動を展開されていると感じられる。
- 職員同士の連携、他関係機関とも連携を取り、気になる子の対応に当たっていると感じられる。
- この件については十分に達成できていると思われ適切と思われ。
- 強いて挙げれば、非常勤で午後の預かり時間や玄関対応、送迎バスにあたっている職員の皆様にも十分な理解を広げて頂ければ良いと思われる。
- 年々、個別の配慮を必要とする園児やグレーゾーンのお子様が増えてきているように見受けられる為、先生方のご苦勞はあると思うが、そのお子さんへの対応と共に他の子への保育活動など、先生方での理解と協力、また、関係機関との連携を深め、日々の活動に力を注いでいただきたい。
- ③ 「保育者としての能力や良識を確認する。」に対して
- 保護者目線で見れば、十分達成出来ていると思われ適切と思われる。
- 如何せん多くの教職員がいる為、全員がというわけにはいかないし、それぞれ経験や個々の能力差というものはあるのは仕方がないことであると理解しているが、その差を出来る限り埋めて頂くようお願いはしたい。
- 保育に活用されているのだとは思のだが、スマートフォンの画面を凝視されている職員の方を時々見かけることがあり、第三者として見ると、残念な気がするので、出来ればそのようなところは保護者には見られないようにしてほしい。
- 若手世代が増えてきたように見受けられるが、親としては接しやすい雰囲気の良いのだが、その分経験不足からくる受け答え的なところも見える為、ベテランの先生方の細かなフォローを期待し、将来的な世代交代へとつなげていただきたい。
- ④ 「各研修会や研究会に参加し、他職員へ資料提供をする。」に対して
- 行事等において、レベルを落とさない様努力をしている様子が伺え、現状維持に努め、それ以上にしようという意欲が感じられ、研修等の成果が表れているのではと感じられた。
- 今後も一層の研鑽をお願いしたい。
- ⑤ 「安全管理と衛生管理に努め、日々の訓練と予防を行う。」に対して
- この件に関しては、定期的に管理が行われ、全体としては問題なく十分に達成出来ており適切と思われる。
- 危機管理として、防火防災の訓練に関して、以前より同じ訓練を繰り返しているだけのようと思われる、漫然と行われているのではと感じるので、見直してみるのもよいのではないかとと思われる。
- 昼食(給食と弁当持参が混在)についてはアレルギー対策が施されているが、午後のおやつ(各自持参)の時間におけるアレルギー対策が外からは見えない為、対応等についてはよろしく願いたい。

○コロナに対して様々なことが緩和されていくが、今後の世の中の動向を的確に見据え、子ども達の安全を最優先に対応して行っていただきたい。

⑥ 「保護者への適切な対応と、家庭との連携、及び、地域社会との連携を図る。」に対して

○ほぼ十分に達成できていたのではと思われるが、近隣への対応としてコロナという事もあるのかもしれないが、もう少し行事等のアナウンスを確実にまた早めにして頂き、その行き帰り等において騒音や車両の通行等、保護者の方にも近隣に対しての配慮をお願いしたい。また、普段の保育や行事の練習において、出来るだけマイクを使うことは避け、使う際には音量に注意をお願いしたい。

○子ども達が外で使っているおもちゃやボールが隣家の庭に入ることが度々あるが、出来るだけすぐに対応してもらう事が望ましいと思われる。また、紙等が飛んでくることもある為、隣接道路等の清掃も今迄同様、日々お願いしたい。

○保護者の意見として多くの方が、園での子ども達の様子を見たいとあげている為、今後コロナが緩和されていく中、参観できる機会を考慮してもらうとともに、その人数等についての緩和もお願いしたい。また、参加できる形のものも増えて行くことよいのではと思われる。

⑦ 「積極的に英語教育を取り入れ、国際感覚を養う。」に対して

○英語に特化したラビットクラスにおいては順調に英語に親しむ環境が整ってきているように見受けられ、通常のクラスにおいても、専門の講師たちを交えての教育に力を注ぎ、全体として十分に達成出来ており適切と思われる。

⑧ 「日本語の言葉の表現・文字の美しさに改めて気づかせるとともに、就学に向け学習へとつなげていく。」に対して

○新たな取り組みとして個別指導による文字の学習を取り入れて進めるなど、今迄のものに加えグレードアップして取り組んでいただき、十分に達成出来ており適切と思われる。今後も更に継続して取り組んでいっていただきたいと思う。

⑨ 「子供の個性と段階に応じた運動能力の向上に努め、子供達の健やかな体力の向上に努める。」に対して

○家庭ではなかなか子供たちが思いっきり手足を伸ばし運動することが出来ないなか、様々なことに取り組んでいただき有難く思います。

○今後は子供が大声でのびのびと活動できる世の中となって行くが、益々多様なことに取り組んでいただきたい。

○十分に達成できていたと思われます。

⑩ 「各学年が目標に向け、向上心を持ち、子供達の成長に寄り添って進んでいく。」に対して

○評価は適切と判断出来、先生方、職員の皆さんには頑張って取り組んで頂き保護者としては感謝しております。今後も宜しくお願い致します。

○欲を言えば、子ども達の個性・能力の違いにより先生方の人員の適切な配置や補強について若手の先生への世代交代も踏まえ、常に配慮と調整をお願いしたい。

○子どもにとっても、先生方にとっても、穏やかな環境の整備が出来るとよいのではと思われます。

5. 『自己評価』における「4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果」に対して(意見を抜粋)

○前述の、『自己評価』における「3. 評価項目の達成及び取り組み状況」に対する評価の各項目を踏まえ、

令和4年度における目標や計画についてその評価結果を鑑みると、達成出来ていたと思われ、適切であると判断致します。

○また、評価理由にある内容を今後も継続して頂き、その上で、コロナ後を見据えた幼児教育の水準向上に努めていただければと思います。

6. 『自己評価』における「5. 今後取り組むべき課題(継続、及び、新規)」に対する評価(項目ごとに意見を抜粋)

① 「より良い指導計画の編成」に対して

○取り組み方法にあるように、一丸になって取り組んで頂き、その時々的情勢に即したものと実現して頂ければと思います。

② 「自己点検・自己評価と教職員の資質向上」に対して

○毎年繰り返しとなるが、有資格者の教員のみならず、すべての教職員の皆様に、資質や能力・適性を高め、各々が常に意識し、知識・意識・技術の向上に努めて頂ければと思います。

③ 「危機管理対策の徹底」に対して

○取り組み方法にあるように、危機管理対策については徹底して行ってもらいたいと思います。

○特に世間でも騒がれた、園バスにおける車内置き去り対策と、漫然化していると思われる避難訓練に対して計画の見直しとその実行に早急に取り組んでいただきたい。

○日々変動する状況に即した、誰でもが理解し取り組める、各種危機管理対策マニュアルの作成と改定に今後も努めて頂きたいと思います。

④ 「預かり保育における縦割り保育の更なる充実と職員の連携」に対して

○充実した預かり保育の運営を目指すと共に、その事が通常保育担当教員の負担、及び、通常保育カリキュラムの進行に支障が出る事のないよう、人員の拡充と適正配置をお願い出来ればと思います。

○また、通常保育と夕方の預かり保育担当保育者が常に連携し、情報を共有することにより、お互いの教育水準の向上に努めていただければと思います。

⑤ 「保護者との連携と満足度の把握」に対して

○ICT支援システム「コドモン」について、保護者においてはかなりの割合で活用されるようになり便利なものとなったが、保護者と先生の関係性が希薄になってしまう部分もあるので、柔軟性を持って、直接言葉を交わす事の必要性も考えながら、保護者への対応をお願い出来ればと思います。また、添付書類の扱いがわからない保護者がいたり、プリントアウトすることが出来ないケースもある為、その対応にも配慮をお願いしたいと思います。

○コドモンについては、職員側に年配者が多く、そこから配信された情報の把握が不十分な方がいるのではという意見もあり、そのような事が無いよう園側の情報共有の徹底をお願いしたい。

⑥ 「新たな取り組みの継続とその向上」に対して

○今後も更なる向上に向け、頑張っていただければと思います。

○先生方には年間を通して体調の維持に努めていただくよう、無理のない勤務と頑張りに期待いたしております。よろしくお願いいたします。

7. 令和4年度 自己評価、及び、令和4年度の学校運営に対する総合評価

これについては昨年度に引き続き、北山幼稚園 自己評価・学校関係者評価担当小野先生との協議により

『令和4年度 自己評価・学校関係者評価結果 公表シート』内の

6. 学校関係者の意見・評価

の欄へ、以下の通り、転記をする事と致しましたのでよろしくお願いいたします。

●保育時や発表会における換気方法、園児のマスク着用、園庭での自由遊び時の保育者の配置、保育者の退職などに置いて意見交換がなされた点以外においては、この自己評価結果公表シートにおいて、特に特筆すべき事項はなく、妥当であると認められる。

以下、下記の様な意見等も寄せられ、今後の検討事項の中に織り込んで考えていきたいと思えます。

- 教職員は、子供の安全を第一とし、主体的に活動できる場を、いつでも提供できるよう、日々努めていくものとする。
- コロナ禍における行事や参観の開催について、保護者からは感謝の言葉と、保護者の中に無断でノーマスクの方が居たが如何なものか、ルール違反ではないのか、毅然とした対応をとってほしい、というような意見が寄せられ、参観人数に対しては、1名というのは少ない、今後は増やしてほしい。という意見が多く寄せられた。また、換気についてそこまで開けなくても大丈夫では？冬は寒すぎるし、夏は虫が心配という意見もあった。
- 保護者の意向とはいえ、感染者数が多いときに園バスの中でマスクをまったくしていない子がいるというのはいかがなものかという意見も寄せられた。
- 教員であろうと、バスの運転手であろうと、事務員であろうと、園児から見れば同じように先生なのであるという事を意識して、行動や言動に注意し、常にこどもと共にいて欲しい。バスの助手で言葉遣いが荒い人がいるけど大丈夫なのか。という意見や、園庭で多くの子供が遊んでいるが、小さい子もいて危なくないのか。先生の数に適正に配置されているのか。大人同士で会話されているが先生がいます。スマホばかり見ている先生がいる。という意見が寄せられた。子供の声は幼稚園だからしょうがないと思いますが先生の声がうるさく感じる事が有る。行事でもないのにマイクを通してしゃべっている声がうるさく感じます。という意見があった。
- 夕方、親の送迎の車が集中して、引き渡しに手間取ることがあるように見受けられる。ルールを守っていない送迎の車が見られる。玄関に職員の姿が見られない時がある。という様な意見が寄せられ、本園としてもその在り方について再検討が必要と思われる。
- 園バスの運行において、当園においては対策を常にバージョンアップをしているが、保護者より置き去り対策の徹底をお願いしたいという意見も寄せられているので、更なる検討をしていくものとする。
- 退職する先生がいるのはしょうがないことですが、それについてのお知らせしてほしい。子供を見てくれている先生がわからない。という意見が寄せられた。
- 報道の中で保育園の保育士による体罰というものが話題となる事が有り、不安に思われる保護者も当然いる事から、本園においてそのような事が起こらない様、職員一同気を引き締め、互いに注意をしつつ取り組んでいくものとする。

○隣接している住宅へ子供がおもちゃやボールを蹴りこんでしまう事が有ると思いますが、その対策は?という意見があったが、ゼロにすることは難しい為、子どもたちに注意喚起をするとともに、起きてしまった際にはすぐに対応することを職員が徹底していくものとする。教職員は、子供の安全を第一とし、主体的に活動できる場を、いつでも提供できるよう、日々努めていくものとする。

以上、「令和4年度 学校関係者評価 結果報告書」を、学校関係者評議会（旧カンガルークラブ※学校評価委員会）の名において提出致します。

令和5年4月10日